

---

# 鴨井の時空旅行

ヨコピーマン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

鴨井の時空旅行

### 【コード】

N8918V

### 【作者名】

ヨコピーマン

### 【あらすじ】

鴨井はタイムトラベルできる能力を持っている。しかし、鴨井はその能力を観光のみに使っている。

行った先々で必ずトラブルに巻き込まれていく鴨井。それでも観光をやめられない鴨井は…

## 鎌倉

時は鎌倉。

一人の武士が歩いている。武士の名は鴨井。

実際には武士ではない。鎌倉に来たから身なりを合わせているだけ。

鴨井には秘密があった。

その秘密とは、右手の親指と小指を立て、それを鼻へ突っ込むと、好きな場所へ、好きな時代へ行くことができることだった。

いわゆるタイムトラベラー。

鴨井が今、鎌倉時代に来ている目的は観光。

別に任務とかそういうかわつこいいことがあるわけではない。

ただ自由気ままにタイムトラベルを楽しんでいる。

2

鴨井が鎌倉の街を歩いていると、一人の商人らしき男が声をかけてきた。

「へい、だんなア。ちょいと見てってくださいよ」

商人が売ってるものは食器だった。

色々見ていると、皿の底にピンク色のハートマークがついているものを見つけた。

「アキ？ シュンタ」

どう見てもこの時代のものとは思えない。

どこで見つけたか尋ねてみた。

「そりゃあ、値が張りまつせ。なんせ桃色の食器なんてなかなかねえですからねえ」

鼻をほじりながら答えてきた。質問に噛み合わない答えを。

「だから、どこで見つけたんですか？」

「アアン？どこだったっけなあー。それよりだんな、このウルシの食器はどうですかい？なかなか良かと思えますけどなあ」

だめだ。このじいさんイカれてる。

そう思った鴨井はとりあえず「アキ？シユンタ」の食器を買った。

「ミヤア〜オ」

突然木の上から猫の鳴き声が聞こえてきた。

木を見上げる。が、そこにいたのは中年のおじさんだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8918v/>

---

鴨井の時空旅行

2011年10月9日14時35分発行